

神奈川異グ連の活動状況を伝える機関紙 <第79号>

かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議専務理事(事務局長) 芝 忠
 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センター5F
 TEL045-633-5142 FAX045-633-5194
 Email:iguren@kanagawa-iguren.com
 http://www.kanagawa-iguren.com

特別寄稿 我が国の航空機産業育成に関する熱い思いを寄稿いただきました。2回にわたって連載いたします。

立ち上がり 日本の航空機産業

まんてんプロジェクト 千田 泰弘 (JASPA取締役)

1. はじめに

三菱重工業が昨年3月に国産のリージョナルジェット旅客機(比較的小型で短距離用の旅客機を業界ではこのようにクラス別けている)MRJの開発をスタートした。日本が戦後初めての旅客機YS-11を開発してから46年目の民間航空機開発プロジェクトであり、自動車産業に次ぐ将来の製造業のためにも是非とも成功して欲しいと各方面から大きな期待が寄せられているプロジェクトであるが、過去46年間の空白のため航空機産業自体が我が国では未成熟であり、多くの課題を抱えたままのスタートと言える。MRJプロジェクトをきっかけとして、我が国の航空機産業が先行する欧米諸国並に立ち上がって欲しいと願う一人として、雑文を書き、皆様のご参考にした。

2. 航空機産業の特徴

①法規制

航空機は、人命の安全を至上命令とすることから、その製造や使用に関しては極めて広範囲かつ細部に亘って国の認可や規制が掛けられている。たとえば、民間航空機に使用する部品は、ネジ一本、ビス一個に至るまで素材、加工方法、検査方法など細部に亘り国の認可(型式証明や耐空証明という。特に安全に直結する機体、エンジン、プロペラに関しては、型式認定と耐空証明の2種の認可を要する)が必要であるし、航空機を製造する企業は国の認可を受けなければならない(防衛用の航空機にはこのような許認可制度は定められていない。その代わり他人の用に供することは出来ない)。また、使用する部品は航空機のライフサイクル20年以上に亘って品質保証とトレーサビリティ確保をおこなって継続的に提供しなければならない独占的製品であり、他産業と異なる大きな特徴である。このような背景から、型式認定を取得した企業の市場支配力は当然のことながら強大となる。

②市場規模

航空機産業の市場規模は、全世界で年間40兆円強と小規模であるが、その技術波及効果は、自動車産業の3倍程度になるといわれており(ちなみに自動車産業の波及効果は、製造業の平均の2倍程度と言われている)、欧米工業国のみならず、中国、ベトナム、など工業化を目指す国々が国策として重点的に育成振興を図る産業分野の一つとなっている。

③付加価値

一方MRJクラスの航空機では、一機あたりの部品点数は200万点程度、その種類は数万種といわれ、普通乗用車の100倍近い規模である。また、部品価格は普通自動車の部品の100倍以上と高付加価値である(例えば、ネジ、ビスは一個数百円、エコノミークラスの座席一席は100万円以上、最も付加価値の高いジェットエンジンの重量当たりの価格は銀の数倍)。このように高付加価値、高品質の部品を少量、多品種に亘って生産するという特徴は、中小企業との親和性が極めて高いといえる。事実、欧米の航空機産業は、少数の巨大なアッセンブリメーカーの下に非常に多くの中小、零細企業とそのボトムラインを構成し産業を支えている。

④技術

安全性の担保が大前提であり、信頼性データ、実績データのある技術のみが採用される。航空機のライフサイクルとされる約20年の半ば頃には、次期商品を準備するのが通例であり、航空機メーカーの新規開発も概ねそのような前提で計画すると言われているため、新技術採用までの期間が長い。認可件数が多い国ほど技術データが蓄積されており、当然のことながら米国が世界を圧倒している。米国政府は技術基準や、認可した部品をすべて世界に開放しており、またその策定には米国、欧州の政府、メーカー、利用者などが参加し、事実上の世界基準となっている。実績の少ない新規技術の採用に関しては、採用するメーカーが独自に試験データを整備し国に認可申請をおこなうため、当然のことながら欧米の機体メーカー(ボーイング、エアバスなど)、エンジンメーカー(GE、ロールスロイスなど)にそのデータやノウハウが多く蓄積されている。もちろん

日本のメーカーも技術面で決して遅れをとることはないが、実績となると46年間の空白は如何ともし難い。三菱重工業の発表によれば、MRJの部品の国産化率は最大でも40%程度であり、その他は海外からの調達になると言う。

一方、MRJの競争相手の一つであり、既に100機以上の受注を確得したとされる中国国営のARJ21（アジアリージョナルジェット）の国産化率目標は50%と発表されていることから、如何に中国政府が力を入れているかが推測され、今後の国際競争力強化のため、他産業で培われた、我が国の世界的競争力に最も優れる素材技術と加工技術（総称して素形技術と呼ばれる）を航空機産業にいち早く転用できるようにすることが今後の重要な課題であろう。

次号は、「日本市場と産業の未成熟」「制度整備の必要性（航空機工業振興法、航空法、空港法など）」です。

産学官交流サロンのコーナー

第20回(5月11日)西湘サロンの報告

吉池正樹 BC

「サロン開催3周年記念3シリーズ」最終回として松田町の横山酒店 横山智丈氏に「本格的生産に入った地ビール“ハッピーモルト”」とのテーマでお話をさせていただきました。氏が研修旅行でイギリスに行ったとき味わった地ビールが忘れられず、免許を取って自分で作ってしまったという楽しいお話です。

昨年8月に仕込んだビールがようやく西湘サロンでのお披露目となり、味わいながらの懇親で、“自分の店でも売りたい”との早速の注文も入り、参加40名と大盛況の交流会でした。

第21回西湘サロンの開催案内

日時：2009年7月13日（月）18:00～20:30

場所：あいおい損保小田原支社(瀬戸ビル)3F

話題：「北原白秋と小田原」 関東学院大学非常勤講師・竹村忠孝氏
白秋は600以上の童謡を小田原で作ったといわれ、また、白秋と小田原に関わった著名人は日本を代表する文学者、歌人、詩人、政治家など百名以上にのぼるそうです。地元小田原で北原白秋の研究を続けている竹村氏のお話です。

参加費：1000円 申込：島津俊、吉池、芝 tel 045-633-5142

おなじみ尾上町サロン

日時：原則第一・三金曜日（6月5日、19日）17:15～19:30

会場：神奈川中小企業センター5階異グ連事務所

会費：1000円（現物も大歓迎）

連絡問合せ：神奈川異グ連事務局 芝、八幡、鈴木

045-633-5142

第5回野毛浮世床（3月25日）新産学公交流サロンの報告

織方BC

お待ちかねであった「野毛浮世床」が、「鯨」をテーマに「野毛はな&はな」で開催されました。戦後「くじら横丁」もあった野毛に、新鮮料理メニューを復活させようとの試みです。

第一部：鯨と日本人の深いつながりでは、新築した野毛合同施設「野毛はなはな」で、鯨そのものの勉強会をおこない、VTRで調査捕鯨の現状や、横浜と鯨、蔵元と鯨ブランド酒などが紹介されました。

第二部：おいしい鯨と酒（鯨料理のラリー）では、参加者が鯨料理店10店舗から2店を選んで賞味・堪能し、その後全員がおなじみ「叶屋」へ集合しての全体交流会が開催されました。

一部、二部延べ80数名の参加者が有り、大変好評で今後も継続企画を希望する声が多かった。

新産学官交流サロン（H20年度）の総まとめ

芝 忠 異グ連専務理事

昨年度（平成20年）のサロン事業の全容がまとまりました。総事業件数が54回、参加者数延べ777名。開催地は横浜、川崎、三浦半島（横須賀）、西湘（小田原）の4か所の他、県央地域（海老名を予定）の準備的会議を行いました。サロン本体の開催回数は川崎の4回の他は全部6回開催。横浜の分科会（関内・野毛地域活性化）が別に20回。サロンの平均参加者数は西湘が一番多く25名、以下三浦半島が19名、横浜14名、川崎12名。合同サロンとして「野毛浮世床」として横浜で開催したものが2回、計173名。この開催については横浜の分科会が貢献しました。サロンの内容は様々で、話題提供者も製造業から商業・サービス業、水産業、行政、大学、公益団体など。西湘地域では2市8町といわれる広域の産業界・行政・大学等の連携が深まっています。三浦半島地域は地域性を活用した漁業や環境の話題を取り上げました。横浜・川崎地域ではしっかりした中小企業の経営者がこの不況にも負けずに経営に奮闘している様子が学べました。

合同サロンとして取り上げた「野毛浮世床」は横浜市中区野毛地域活性化の討論の場を設定したもので、今回は地元飲食街と共催し、鯨料理の試食開発や店の訪問ラリーを行い、大変楽しいイベントとなりました。横浜開港のきっかけが欧米の捕鯨船に対する日本の補給基地としての利用にあったことが言われています。港と捕鯨の関係のみならず、飲食街に「くじら横丁」をつくらうという構想が有り、新たな名物づくりといえます。

店側が鯨料理の研究に挑戦しており、様々なメニューの提案がなされています。この鯨料理の評価や店の反応、参加者の反応などについて、異グ連に調査依頼が有り、この面でも貢献しています。私たちが改めて鯨の生息状況や捕鯨の歴史、日本人とのかかわりを勉強しました。人気のイルカは鯨の体長が4m以下のものを指すということで同じ仲間です。最近鯨が増え過ぎて大量の魚、鰯や秋刀魚など人間が良く食べる魚を食べているようで、人間と捕食競争になるらしいです。日本人の今後の魚文化を知るためにも勉強が面白そうです。

今回は10店舗の協力で鯨料理を食べ歩きました。最後は叶やさんと合同交流会を楽しく行いました。高知の「酔鯨」や焼酎の差し入れがあり、お酒の方も堪能しました。

以上の公式サロンとは別に、異グ連事務局を活用した「尾上町サロン」が毎月2回（祭日は除く）開催されており、こちらもなかなか盛況です。一人一人が話題提供者となり、新人さんも見えて盛り上がっています。是非みなさんも色んなサロンに出かけられてはいかがでしょうか。

かながわ異グ連の会員グループやプロジェクトの状況

第95回日韓ビジネス協議会総会(4月22日) 報告

高橋導徳BC

○総会 議長：瀧澤 清氏のもとで、各議案とも満場一致で承認された。

第1号議案 2008年度活動報告・第2号事案 会計報告・第3号議案 会則および役員

第4号議案 2009年度活動方針

○特別講演 「スリーピングリッチビジネスについて」・(株)スリーピングリッチ 館野育夫氏

オキルンランド(昼間・ビジネス・サンマーケット・意識)、ネムルンランド(ムーンマーケット・素地畑・眠り道・21世紀の熟成幸哲学)からスパイラルンランドに導く(昼間の活動を甦らす・ビジネス・天地畑・お金君たちの甦り・眠り文化の創造と実践の成果・パピューンマーケットでゴールデンラッシュ)ことを説明された。

第96回日韓ビジネス協議会定例会開催連絡

高橋導徳BC

日時：5月26日(火) 15:00～17:15 懇親会17:15～ 今回、都合により火曜日になりました。

場所：神奈川中小企業センタービル・5階会議室 かながわ異業種交流センター

○韓国企業紹介／大韓貿易投資振興公社(KOTRA) 三信イノテック(株)次長 金英泰氏

○日本企業紹介／結婚情報サービスについて アイリーン代表 大成隆子氏

○「世界で暮らし易い国は何处か？」マナー調査：世界生活環境ランキング2009紹介

神奈川異業種グループ連絡会議・交流アドバイザー 児玉英二氏

○韓国・蔚山中小企業協会の紹介 プラスアルファア一月岡事務所代表 月岡泰夫氏

○基調講演：「雲の上のパソコン」 株式会社テレジャパン 代表取締役 宗像忠夫氏

* 関心がある企業の参加者を歓迎致します。 会費：1000円です。

申込先：TEL&FAX：045-311-0094 高橋迄 mail：mtakahas@tb3.so-net.ne.jp

IES国際交流支援協議会

NPO法人IES国際交流支援協議会理事長 加藤めぐみ

下記講座をライフサポートサークルと共催・開催していくこととなりましたので、皆様にご案内致します。

* 人成学セミナー入門編(第1回) (定員12名)

本当の自分に気づき、本当の自分の能力を伸ばし、自分の可能性を最大限、引き出していく。人生の成功とは、人間として成長することでもあります。そして、人の成長をお手伝いできるということでもあります。どんな状況であろうと、どんな人も望めば、成功の人生を手に入れることはできると思います。

第1回の勉強会の内容は、「1. 傾聴のテクニックを身につけよう」です。聞き上手になるコツ・話し上手になるコツ・バランスを保つ・交渉力を身に付ける・グループでの傾聴のコツです。

【日時】平成21年5月31日(日) 10:00～16:00

【講師】星野 優美子(選択理論心理士、PCM認定トレーナー) 【参加費】8千円

* 自己理解講座～他者理解は自己理解から～ (定員12名)

今回の講座では、心理学の理論のひとつである“交流分析”を用いて、自分の持っているいろいろな「こころ」の働きについて学んでいきます。そして、自分に気づくことを体感していただきます。

【日時】平成21年5月31日(日) 13:30～16:00

【講師】笠井 淳(交流分析士、産業カウンセラー、国家資格精神保健福祉士) 【参加費】3千円

場 所：横浜市中区真砂町4-43 木下商事ビル8F YRC内 NPO法人IES国際交流支援協議会
講座予定：6/7・6/14・6/21・6/28・・・順次開催。詳細は下記HPにてご確認下さい。

<http://ies-world.com> もしくは、<http://ies-world.com/lifesupport/advance-schedule.html>

お申し込み：ご参加ご希望の方は、メールアドレスまたはお電話にてお申し込み下さい。

Email : ycr@ies-world.com TEL : 045-222-6205

シフト21

有村BC

5月定例会(5月12日)は、『あなたの知らない音楽の力』というテーマで、音楽療法の体験を中心に、日本音楽療法学会認定音楽療法士 松崎聡子様にお話をいただきました。

6月定例会(6月9日)は、『日本の航空機産業の現状と課題』というテーマで、JASPA株式会社 取締役の千田泰弘様にお話をいただきます。昨年46年ぶりに始まった国産航空機の開発に関し、その現状と今後の課題について、航空機産業の特殊性、日本の航空機利用、製造の現状、世界の航空機産業と日本の航空機産業、日本の航空機産業の発展の為の法制度や技術開発の課題などをお伺いいたします。

シフト21は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループとして、業種や業態を問わない幅広い交流を目的に定例会を開催しております。(原則第二火曜日開催) ゲストの皆様の参加を歓迎しております(初回参加は無料)。お問合せは有村までお願いいたします。arimura-c@nifty.com

投稿

南西アジア事業の2年目

魚崎誠也BC (C&S 会長)

異グ連にJICA 横浜から委託された事業で、1年目の研修生が3月7日に帰国して間もないが、2年目の準備に入った。2年目は、JICAの宿泊施設の都合で、本年7月中旬から下旬に研修事業が行われることになり、前回の反省と今回の準備のために、3月25日にJICA横浜にコーディネータの加藤会員をはじめ数名が集まった。1年目は、4カ国5名の参加であったが、2年目は、8名程度の人数になるとのことであった。

前回の研修生の感想では、やはり日本の先進性に感心すると同時に、いくら小さな企業を見せても、大企業だというような妙な評価であった。前回参加したアフガニスタン、ネパール、ブータン、スリランカの4カ国は、農業を中心とした国であるので、農業の工業化で付加価値を増さねばならないということを頭では分かっていた人たちがであったが、実際の日本の状況を見て、自国のどこから手をつけたら良いのか戸惑ったことと思った。

今回、このような点を考慮して、出来るだけ農業関係の日本の状況がわかる見学コースなど考慮するという事で準備に入ることにした。日本が戦後欧米を見て、見よう見まねで頑張ったときと重なるが、彼らは、やはり日本人よりはおおらかというか、教えてほしいという甘えがあるような感じさえあると受け取れた。日本の農業も、戦後の農業と比べれば、格段に近代化され、農協を中心とした物流も構築されて、好に付け悪きに付け当時の農業と比べ物にならない変化をしている。

結局、今回も出来るだけ農業関係に目を向けたカリキュラムにすることを申し合わせたが、やはり、前回と同じように少しでも中小企業の匂いのするところを農業・工業・商業を平等に参照して頂いて、ご自分自身が工夫して自国に合うようにするのが王道ではないかという感想を持った。

「驕るな、企業は社会に存在させていたでいるものだ」 P・F・ドラッカー

オーストリア生まれのP・F・ドラッカーはナチスの迫害をさけ、イギリスに移住し経済学者のケインズに学び、さらにアメリカへ移住後はゼネラルモーターズ(GM)社のコンサルタントなどで、「マネージメントの神様」と呼ばれた。

いま経営難に陥ったGMの経営者陣が、専用ジェット機を使い、高額の報酬を受け、はたまた個人保有のGM株を放出するという信じられない経営者行動倫理を、ドラッカーのどこから学んだのであろうか??資本主義社会は膿んでいる!! 編集子

神奈川県異業種グループ連絡会議 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】 村上 嘉男 【火】 八幡 敬和 児玉 英二 【水】 (芝 忠) 杉本 明子

【木】 松井 利夫 【金】 ①③⑤魚崎 誠也 ②④織方盛男 【土、日、祭日】は休業です。

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5階

神奈川県異業種グループ連絡会議事務局 TEL 045-633-5142 FAX 045-633-5194

URL : <http://www.kanagawa-iguren.com> e-Mail : iguren@kanagawa-iguren.com

皆様からのご投稿をお願いいたします。(会報編集担当) mail t-onogawa@pro.odn.ne.jp 小野川へお送りください。

神奈川異グ連への連絡問合せは、上記事務局当番者 tel 045-633-5142 fax 045-633-5194 へどうぞ!